

# APPEAL

発 行 者  
JR 東海労関西地本  
大阪台車検査車両所分会  
2014年 10月6日  
NO.68

## 新幹線開業50周年！ 迎えた社員一人一人の モチベーションは 上がったのだろうか？？

他労組の組合員の皆さん！  
会社は「新幹線開業50周年教育」を今日まで3回もや  
ってきています。これに対して社員の感想は、「同じことの  
繰り返しでうんざりする」「押しつけはやめてほしい」「何  
か残る記念品の方がいい」「50年とは関係ない内容で教育  
されている」ということが言われています。  
私たちは会社に「教育ではなく社員に報いるためのもの  
はないのか」という声に「社員の努力に対しては賃金や期  
末手当で報いていく考えである」ということを言ってい  
ます。  
なぜ社員の気持ちに答えないのでしょうか？  
たしかに口では、「賃金や期末手当で報いる」といっていま  
すが果たしてそうでしょうか。会社は8月26日、いきなり  
リニア建設費に935億円を増額することを発表しまし  
た。この間もそうでしたが、リニアの建設費確保のために  
職場では経費削減が行われ、労働条件は益々過酷なものに  
変わってきています。このような現状を考えると「賃金や  
期末手当」でとなるのだろうか？  
ゆえに会社は出したくても出せないのです。そのための  
不平不満を「教育」でかわそうとしているのです。だから  
関西支社人事課長は「単なる50年を祝うことではない」  
だとか大阪台車車両所所長は10月総点呼の訓示で「遅刻  
や不祥事」の訓示が先で、50周年は二の次の訓示内容と  
なるのです。皆さんどう思いますか？

「記念コイン・切手」  
イベントなどで祝っているのに！  
社員には押しつけの「新幹線開業  
50周年教育」で、「規律・規範」の  
徹底をはかる会社の姿勢をどう思わ  
れますか？

私たちは職場の声を訴えていきます！